

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習Ⅰ		科目コード	22Y502	担当者	荒木 正平、織田 芳人、 本村 弥寿子、中村 浩美、 福井 昭史、南條 恵、 船勢 肇、山中 慶子、 高橋 秀樹			
対象学生	幼児教育学科 1年生・2年生	学期区分	1年後期・2年前期		単位数	4	担当形態	複数			
		授業形態	実習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
大学で修得した内容をふまえ、児童福祉施設などの役割や機能を、観察や子どものかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、保育士の業務内容や職業倫理について総合的に学ぶ。						1. 「良心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育所・施設の社会的役割や具体的活動などを理解する					◎	○	◎	○	◎	○
2.	保育所・施設の概要や1日の流れを理解する										
3.	子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める										
4.	保育者の仕事と役割について把握し、理解する										
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
学外実習 (児童福祉施設等1年次12月または3月に10日間、保育所実習2年次8月に10日間)						受講態度 (50%) 実習先の評価 (50%)					
課題等への対応						授業外学修時間					
実習事後指導、実習報告会を行い、保育教職実践演習で振り返りを実施している。						60分					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
	<p>1. 施設 実習期間：1年次 12月又は3月 10日間</p> <p>児童福祉施設等 (保育所以外) で10日間、利用者と生活を共にし、食事や身の回りの支援、また各種作業を共にすることを通して、利用者の実態をりかいすることに努め、施設や利用者の実状に応じた働きかけの大切さを学ぶ。</p> <p>a. 現場における基本的な勤務態度・姿勢を学ぶ。 b. 働きかけの姿勢や技術を学ぶ。 ・集団への働きかけ (集団の把握) ・個々への働きかけ (個別への対応) ・居室内の整備 ・職員の協力・連携など c. 記録の書き方を学ぶ。 ・利用者との関わりを反省し振り返る</p> <p>2. 保育所 実習期間：2年次 8月 10日間</p> <p>1) 見学・観察実習/参加実習 a. 実習保育所について理解する。 実習園の保育方針や特色を理解する。また、1日の流れ及び施設・設備の状況について把握する。 b. 乳幼児と触れ合う 乳幼児の様子を観察したり触れ合うことにより、乳幼児の年齢や発達状況を把握する。 乳幼児と保育者との関わりの様子を学ぶ。</p> <p>2) 部分実習/総合実習 担当保育者の指導のもとに、実習生が指導計画を立て、準備→展開→評価に至る保育活動を主体的に担当し、全般的な技術の習熟をはかる。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 希望実習園調査 実習園事前訪問報告書の作成 実習課題の記入 園長講演会報告書の記入 実習報告書の記入 <ul style="list-style-type: none"> 実習園事前訪問報告書の作成 実習課題の記入 園長講演会報告書の記入 実習報告書の記入 					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	教育・保育実習の手引き これからの時代の保育者養成・実習ガイド					<p>受講生へのメッセージ</p> <p>保育実習は、あなたが目指している職業を実際に確認する機会でもあります。保育実習指導Ⅰで学んだ内容をふまえ、実りのある実習になるように頑張ってください。</p>					
参考書等	なし										